

吉備高原都市ウォークラリー 逆コース(問題)

◎競技の仕方

- コース図をたよりにコマ図と実際の地形を注意深く見比べ、交差点や分岐点などの進み方を判断する。必ず班でまとまって行動しましょう。
- 「道なり直進」の原則にしたがって、コマ図のとおり1～37の順番で進む。
- チェックポイント(C.P.1～7)ではその場で問題に教えてください。

班の人全員でよく話し合って答を書こう。班以外の人に聞くと失格です。もしも道に迷ったときも、班でよく相談して、どうするか決めましょう。

◎コマ図の見方

- コマ図は、交差点・分岐点・合流点などの様子を表しています。
- ●印が現在地、↑が進行方向を表しています。
- 舗装路は、アスファルトやコンクリート。非舗装路は、土や草の道を表しています。

◎チェックポイントでの問題

問題は、コース図で指定された場所に行かなければ答えられないようになっています。
回答は、下に記入してください。

- C.P.1** コマ図7にあるアスレチックの名前は何でしょうか。 _____
- C.P.2** コマ図12の信号から見える看板に書かれている空港の名前は何でしょうか _____
- C.P.3** コマ図31の右手に見える建物の中心に動物は何匹いるでしょうか。 _____ 匹
- C.P.4** コマ図23の建物の横のシンボルタワーに書かれている文字は何でしょうか。 _____
- C.P.5** コマ図24～25の間にある建物の柱の数は何本でしょうか。 _____ 本
- C.P.6** コマ図27～28の間で通る場所は何でしょうか。 _____
- C.P.7** コマ図42にある橋から船は何てい見えますか。 _____ てい

◎観察ゾーンについて(引率者が問題を出します)

観察ゾーンは、斜線で囲まれたコマ図(15～16の区間)のところですが、問題は、ゴールに到着してから提示されます。どんな問題が出てても答えられるよう、周囲をよく観察しておきましょう。